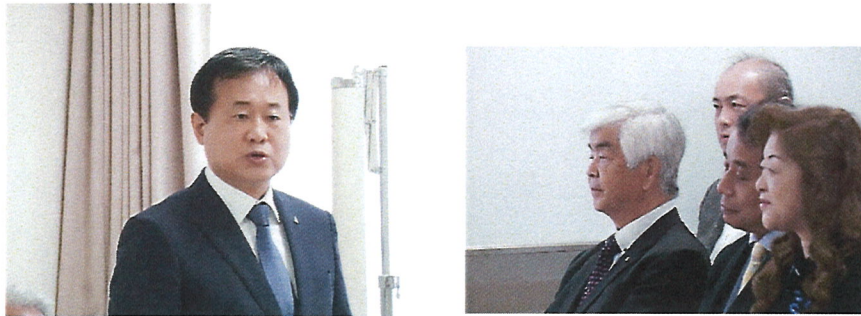


韓国ガス専門検査協会が訪日、全検協の幹部

青年部会役員と意見交換会を開催

令和5年全検協青年部会の訪問を受け、容器検査団体としての日韓交流を目的とし韓国ガス専門検査協会 会長ハン・サンウォン氏他9人が令和6年3月18日当協会に訪問し懇談会を中央区産業会館で実施しました。



意見交換会は、白砂会長の歓迎の挨拶、ハン・サンウォン会長の挨拶のあと参加者の自己紹介がそれぞれ行なわれました。

<ハン・サンウォン会長の挨拶要旨>

- * 昨年、青年部会が韓国ガス専門検査協会を訪問されたことは大きな意義があった。
- * 日本の安全基準は世界一で国民の意識も高いと思っています。
- * 昨日、見学した株式会社カンサン様の検査施設が自動化、容器の流通システムが整備されてとても驚きました。韓国はどうすれば早くに重点をおいているが、安全、完璧をもっと考えなければならないと思った。
- * 韓国と日本はもっと緊密に協力していく時代になったと考える。



<意見交換会の風景>

佐藤専務理事が、当協会の沿革を説明、韓国協会キム・ジョンスン副会長から、検査場の数と検査本数を考える

と商売になるのかという質問も出たりしました。(自社容器の検査だけの工場も多数あるので商売になる)

<記念品の贈呈>

訪日の記念として輪島塗を贈呈。韓国ガス専門検査協会から韓国のお菓子をいただきました。





お弁当で食事会をしたのち集合写真を撮り韓国ガス専門検査協会ご一行は、株式会社エナジー宇宙 夢の絆・川崎様の工場見学に青年部会会員と向かいました。19日翌日は、大静高圧株式会社様の工場見学を行い帰国されました。